

# 技術概要一覧(1)

令和5年度推奨技術	令和5年度推奨技術	令和5年度準推奨技術
<p style="text-align: center;"><b>CB-190009-VE</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>KK-200034-VE</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>KT-150113-VE</b></p>
<p style="text-align: center;"><b>エコクリーンクールスーツ</b> (有害粉じんのブラスト作業時の熱射病対応の装備)</p>	<p style="text-align: center;"><b>ドローンLidarシステムTDOT</b> (専門的な知識が無くても近赤外線レーザおよび緑色光レーザを使った3次元高精度データを取得できるドローン測量システム)</p>	<p style="text-align: center;"><b>電線共同溝(通信)用接着レスさや管</b> (電線共同溝において接着剤を使用せずワンタッチで接続できるさや管)</p>
<p>密閉された足場内で有害粉じん含有塗膜のブラスト作業において送気マスク(JIS T 8153)と化学防護服(JIS T 8115)の機能を備えたスーツです。冷気変換器を使用することでWBGT値(暑さ指数)を10℃下げることが可能で熱射病対策として有効であり作業環境改善を図る装備です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="62 826 322 1310"> <p style="text-align: center;"><b>エコクリーンクール スーツ着用</b></p> </div> <div data-bbox="255 1007 723 1461"> <p style="text-align: center;"><b>ブラスト作業状況</b></p> </div> </div>	<p>近赤外線レーザあるいは緑色光レーザのスクャナをドローンに搭載し、陸上および水中下の対象物の3次元座標を取得する技術である。軽量のシステムにより、現位置で簡単に組み立てることができ、かつ長時間飛行による広範囲の測量を実現させる。また、測量データを自動解析するソフトにより、誰でも簡単に高密度かつ高精度の3次元レーザ点群で陸域と水域の詳細な地形を再現することができる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="801 927 1462 1134"> <p style="text-align: center;">TDOT 3 GREEN    TDOT 7 NIR-S    TDOT 7 NIR</p> </div> <div data-bbox="801 1134 1462 1509"> <p style="text-align: center;">ドローン搭載図</p> <p style="text-align: center;">河道地形の標高段彩図</p> <p style="text-align: center;">樹木フィルタリング前のオリジナルデータ</p> <p style="text-align: center;">樹木フィルタリング後のグラウンドデータ</p> </div> </div>	<p>電線共同溝における共用FA方式及び1管セパレート方式で使用する接着レスさや管で、従来は接着剤を使用した接着接合で施工していた。本技術の活用により、接着剤での接合が不要となり、施工性・施工品質の向上、施工コストの削減が図られる。</p> <div style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">ボディ管    接着レスさや管</p> <p style="text-align: center;">ボディ管内さや管接続作業</p> <p style="text-align: center;">挿入確認窓</p> <p style="text-align: center;">「カチッ」と音がして接続完了</p> </div>

## 令和5年度準推奨技術

KKK-160001-VE

## 消波ブロック吊上装置『F3C』

（吊上作業の機械化により迅速・低コスト・安全に  
 施工でき、大型ブロックに対応可能な  
 消波ブロック吊上装置）

本技術は、独自装置による消波ブロック吊上作業の機械化を行う技術であり、従来は潜水土作業による吊上げ方式(玉掛け方式)で対応していた。本技術により機械式吊具の遠隔操作による無人化を実現し、迅速かつ低コストで安全な消波ブロックの据付・撤去の施工を可能とする。

